

アンバサダーAmbasadoのしおり

アンバサダーとホストファミリーの組み合わせは、受入側のフレンドシップフォースクラブが行います。申込書に記入された情報と受入側の条件により、**組み合わせをする作業はマッチングと呼ばれ、とても大切なプロセスです。**

受入家庭が決まると、手紙かEmailが届きます。その返事には簡単な自己紹介、及び見学したい所とか体験してみたいことなどを書き、写真を付けてなるべく早く出しましょう。アンバサダーは相手都市に到着後、出迎えに来ているホストファミリーに紹介され、そこから十人十色の家庭単位の生活が始まります。

ホストファミリーの基本はボランティア精神です。ホストファミリーは善意の奉仕活動で皆さんをお世話してくださっていることを忘れずに！……ほとんどは中流家庭ですから、特別な事をしてくれる訳ではなく、家庭のベッドルームを使い家族と共に食事をし、**短期間でも、まさに家族の一員として受け入れてくれます。**是非ホスト家庭の真心をつかむと同時に、共に積極的に交流し、オープンな気持で柔軟に接するように心がけてください。ただ、宗教についての話題は、それぞれに考え方も違うので、あまり触れないようにした方が無難です。

ホームステイでのマナー

なるべく多くの時間をホストファミリーと共に過ごすこと。初めは話しにくいものですが、日本の家庭、テレビのこと、食事のことなど身近なおしゃべりで糸口を掴むと良いでしょう。ルールやマナーを下記に記してみましよう。

- 1、“Thank you!”を忘れずに。……何かしてもらったら気軽に言うこと。
- 2、積極的に話す。……ペラペラでなくとも、ジェスチャーを添えたり、絵を書いたり、辞書を引きながらで充分です。積極性が大切。
- 3、“Yes” “No” は、はっきりと。……いいかげんな“Yes”は良くありません。分からなかったらゆっくり言ってもらおうか、紙に書いてもらうようにしましょう。
- 4、自分のことは自分で。……部屋の掃除、ベッドメイク、洗濯などは当然自分でやるべきことです。
- 5、手伝い。……食事の準備、後片付け、料理の手伝い、買い物、掃除、芝刈り、犬の散歩、洗車、庭の手入れ、プール洗い、水撒きなど、お手伝いは義務と考えること。
- 6、遠隔地の遠出など、無理な願いはしない。
- 7、自分の費用は自分で出す。……入場料、交通費(ガソリン代)、食事等
- 8、タバコと酒。……タバコを吸わない家庭は勿論、吸う家庭でも、食事の時などは、許可を貰ってから吸うこと。吸っても良い場所を確認しておくことも必要。お酒は宗教上の理由などで飲まない習慣の場合もあるので、様子を見て節度のある対応をする。
- 9、自室のドアは着替えなどどうしても閉じておかなければならない時以外は、開けておく事。
- 10、ホストファミリーの前では日本人同士でも英語を話すよう心がける。
- 11、時間は厳守する。……翌朝の予定を前の晩に聞いておき、時間に遅れたりしないよう、気をつける。小型の旅行用目覚まし時計を持っていくと便利。
- 12、いつも清潔に。……バスルームは散らかさないように心がけること。ひとつしかない場合は、他の家族との都合も考えて、タイミングよく使うこと。トイレも一緒になっている場合は、特に注意すること。洋式バスは、シャワーカーテンを浴槽の中に垂らして、水が外に撥ねないように気をつける。濡れたタオルを部屋に持ち込んだりせず、どこに干したらよいか聞くこと。
- 13、日本人の曖昧な笑いは要注意。(特に若い女性の不必要な笑いは誤解の元)
- 14、トラブルが起きた時。……自分が悪ければ必ず謝る。心から詫びる気持で、きちんと訳を話し、解決するよう努力する。

15、電話を使う時は断ってから。……交換手に頼むと通話料金を知らせてくれるシステムがあるので、電話代を払う意志があることを伝えること。

16、洗濯物は乾燥機で乾かす地域があるので、どう干すか、まず聞いてから。

17、食事。……食べる時は音を立てないこと。テーブルの上に肘を乗せたり、頬杖をついたり、寄りかかったり、また口に物が入っている時に、しゃべってはいけない。

18、パーティの時は。……沈黙は美德とはならない。積極的に話そう。招待され、玄関に入るときは、まず最初に招待された御礼を必ず言う。初対面の人には簡単な自己紹介をし、話のきっかけを作るといい。辞去する時もお礼の気持を述べること。

服装は必ずしも盛装しなくても良いが、あらかじめホストファミリーに聞いておいた方がよい。いつもショートパンツにゴムぞうりという訳には行かない。男性ならネクタイにジャケット、女性ならワンピース程度の物は用意すること。

和服は大変喜ばれる。

日本についての知識

人口、自然、政治、産業、都市、文化、教育、歴史などを勉強しておこう。特に文化では、着物、履物、漆器、陶磁器、茶の湯、生け花、書道、日本画、版画、歌舞伎、能、狂言、文楽、盆栽、庭園、宗教、道徳、囲碁、将棋、柔道、剣道、空手、などの内の幾つかは、自信を持って説明できるようにしていきたいもの。

ありのままの日本を伝えるように留意する。個人的か、一般的な考えかを慎重に選択し、確定できなければ、多様な考えがあるが、自分はこう考えると答えよう。彼等は大変好奇心旺盛で、人格を年齢に関係なく尊重する。

何か一つは特技を

例えば、折り紙、綾取り、お手玉などの遊び。武道やスポーツ、日本料理、楽器、歌、寄術、茶道、生け花、書道、紙芝居、日本舞踊など。

お土産

1家族50ドル位がよい。高価なものより心のこもった、かさばらないものが適当。できれば自分の手作りのもの、アイデアのこもった物が喜ばれる。

日本的なものとしてはハッピ、浴衣、足袋、下駄、ぞうり、箸、羽子板、日本凧、暖簾、日本のCD、風呂敷、手ぬぐい、絹スカーフ、こけし、日本画、日本人形、うちわ、扇子、鈴、蛇の目傘のミニチュア、絵葉書、切手、墨絵、書、和紙、木版画、折り紙、竹とんぼ、けんだま、日本茶、線香、匂い袋、和紙の小物、その他電卓、デジタル時計、カラーサインペンなど。

たくさんの人に会うと思われるので、記念にあげられるような、ささやかな物をたくさん用意すると、役に立つ。

荷物

各自で運搬できることが大原則。なるべくトランク(できればキャスター付き)1つと計2個に収めよう。

携帯品リスト

機内持込用荷物……貴重品や身の回りのものを入れておく。

パスポート、チケット、お金(現金、旅行用小切手、クレジットカード)薬(使い慣れたもの、酔い止め、応急絆創膏など)ボールペン(入国カード等の記入に必要)、洗面化粧品(歯ブラシ等機内で使うもの)、手帳(手帳には旅券、査証、旅行用小切手、保険などの番号と連絡先のメモ)スリッパ等(機内でくつろぐために)、カメラ、フィルム、

預けるもの……貴重品以外のもの。

衣類、お土産、家族や家の付近など、写真の小さなアルバム、雨具その他、旅行中必要性の高いもの。外からみて分かるように住所、氏名をつける。きちんと鍵のついた、蓋のできるスーツケースかカバン。

預ける荷物にパスポートを入れないこと、必ず手に持つ。

お 金…… ホスト家庭では、宿泊費や家庭内の食事などは、基本的に金銭を請求されることはないが、外出時の昼食代、交通費、入館料などは自分で払うこと。

保 険……必ず病気、事故、盗難などもカバーする旅行保険に加入すること。

そ の 他

* スティ中の一晩に、ホスティング家族をレストランに招待するか、簡単な日本料理を作って感謝の意を伝えることを考えましょう。 現地のスーパーマーケットで揃う材料で工夫しましょう。

FFでは、これを**Thank you Meal**と云っています。

* ホームステイ中は、それぞれの家庭単位の生活となる。隣の芝生がきれいに見えることもあろうが、どの家庭でも自分達なりに努力してくれているのだということを、常に頭においておくこと。

ステイ中に家庭を出て、独断でホテルに移ったり、ホストファミリーと相談もせずに旅行に出たり、ホストファミリーがせっかく立てたプランを無視して、自分勝手な行動を取ることのないようにする。

お礼のE-mail

ホストファミリーは勿論のこと、滞在中にお世話になった方達には、帰国後必ずお礼E-mailを書く。

(最近では、殆どが Eメールで済ませるのが普通になっているようです。)

そのために手帳を持ち歩き、自分なりのメモをしておくとい。何の便りもないと、いやな思いをしたのかとか、楽しくなかったのだろうか、ホストファミリーの気持ちを傷つける結果になる。サンキューのカードだけでも、写真を送るだけでも充分。

滞在中に何か問題が起きたら、EDに連絡する。通常EDは、受入側のED宅に滞在しているので、先方のEDと相談しながら問題の処理にあたる。

[〈戻る〉](#)